

- 弁理士とは？
- 弁理士試験とは？

宇都宮大学 知的財産センター

特任教授 近藤三雄(弁理士)

kondou@cc.utsunomiya-u.ac.jp

弁理士とは？

弁理士になったらできること

以下について依頼人から報酬を受けて仕事ができる

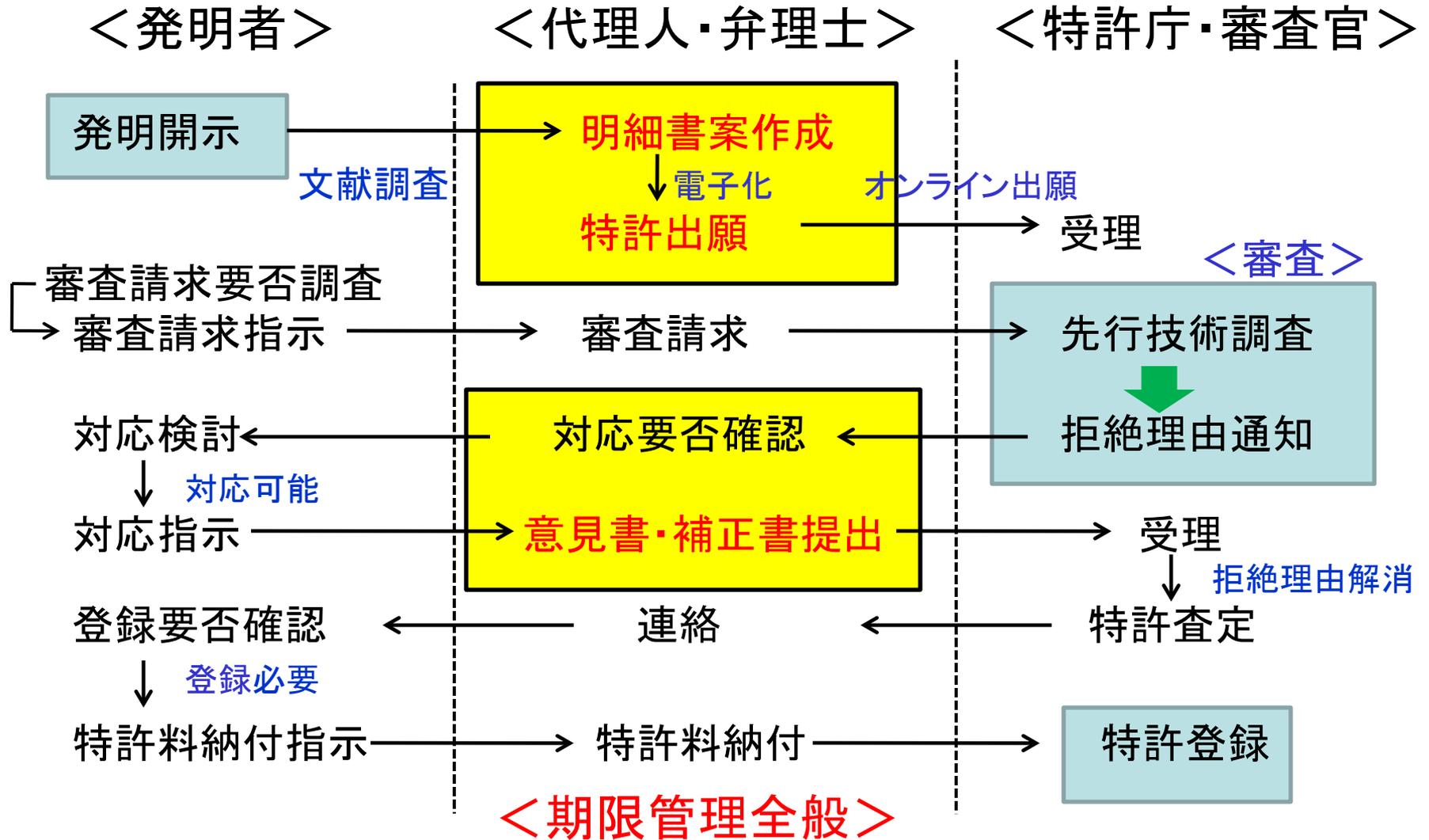
1. 特許出願等手続の代理
2. 特許出願等手続に関する鑑定
3. 特許等に関する権利についての契約

弁理士にならなくてもできること(例)

1. 企業等における特許業務一般

対外的な手続は代表者(社長)名で行う

代理人(弁理士)の仕事:特許出願



弁理士は、依頼人に代理して特許庁に手続し、報酬を受けられる

弁理士になるには 弁理士試験に合格する

短答式試験→論文式試験→口述試験

(弁護士となる資格を有する者;審査官又は審判官として7年以上実務に従事した者→ 受験不要)



弁理士登録する (約20万円)



弁理士会費を払う (約2万円/月)

弁理士試験概要

約1万人

短答式試験

5択択一：マークシート方式

特・実・意・商・条約・不競法、著作権法

60題、3.5時間

★合格者は2年間短答式試験受験免除



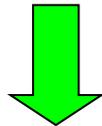
約3千人

論文式試験(必須)

特・実：2時間(200点)

意匠、商標：各1.5時間(各100点)

★口述試験受験者は論文試験永年免除



論文式試験(選択)

機械工学、応用化学、バイオテクノロジー等

から1科目選択、1.5時間

★修士・博士等*は選択試験受験免除

*専門職大学院の学位を有する者で論文審査に合格した者含む



約千人

口述試験

★選択試験合格者は選択試験永年免除

特・実、意匠、商標：各10分程度

弁理士試験日程（平成22年度）

1. 短答式筆記試験 5/23（日） 12:30～16:00
（合格発表：6/9）
2. 論文式筆記試験
 - (1) 必須 7/4（日） 10:00～17:00
 - (2) 選択 7/25（日） 10:00～11:30
（合格発表：9/24）
3. 口述試験 10/15（金）～10/22（金）
（合格発表：11/9）

★各試験が終わったらすぐ次の試験の準備を！

平成21年度試験結果概要

志願者：10,384名

短答式試験

受験者：7,344名

↓ 19.2%

合格者：1,411名

1,925名

(短答式試験免除者)

論文式試験

受験者：3,336名

↓ 28.3%

合格者：944名

75名

(論文式試験免除者)

口述試験

受験者：1,019名

↓ 80.0%

合格者：813名

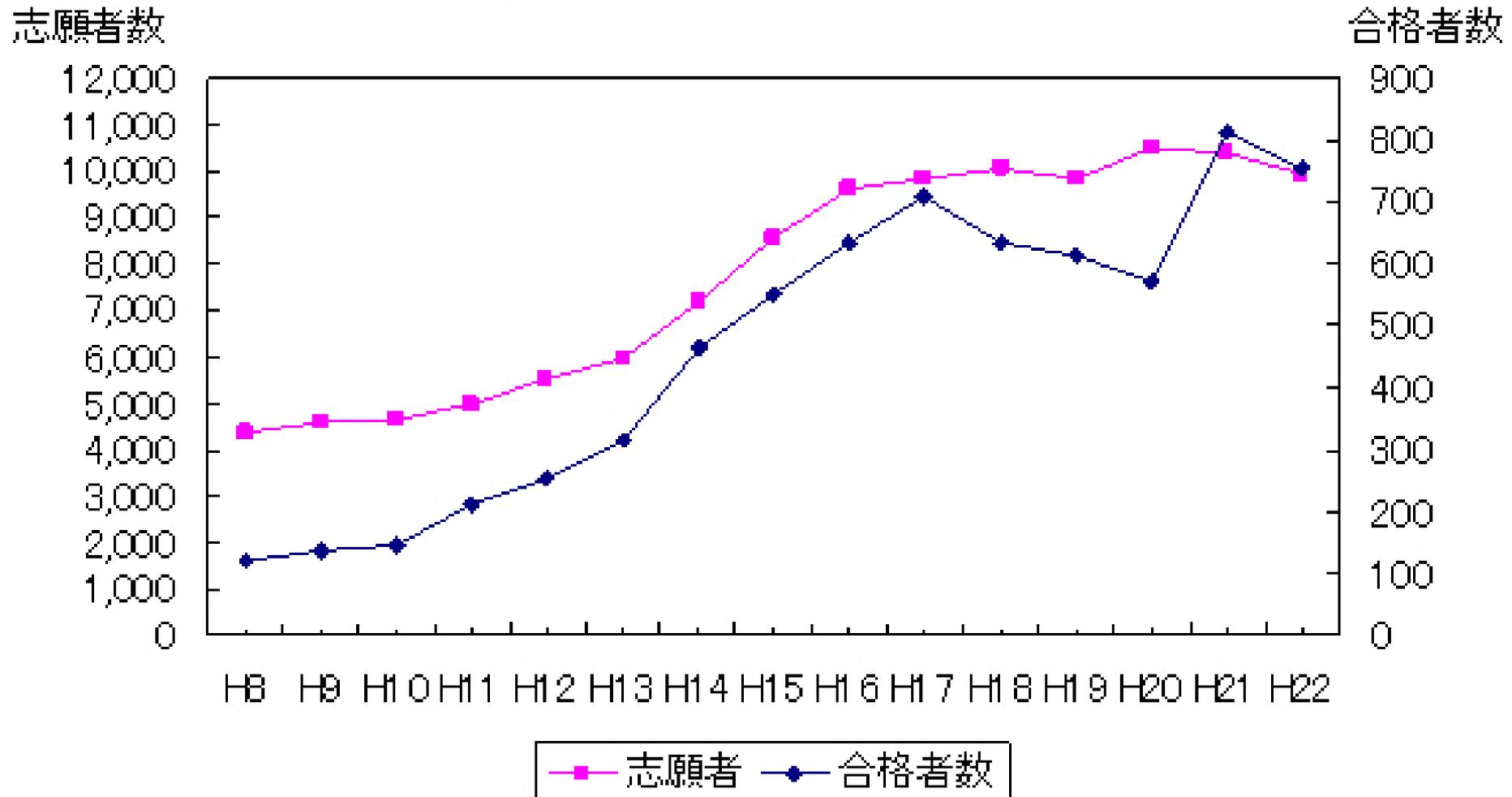
最終合格率：7.8%

短答式試験合格率

年度	合格率(%)	合格者／受験者
平成22年	19.2*	1,411／7,344
平成21年	19.3*	1,420／7,354
平成20年	29.6	2,865／9,679
平成19年	29.5	2,678／9,077
平成18年	31.0	2,878／9,298

*前年か前々年の短答式試験合格者は短答式試験免除

弁理士試験の志願者及び合格者数の推移



弁理士試験合格率(平成21年度)

()内は、平成20年度合格者数

	受験者 (名)	合格者 (名)	合格率 (%)
1.東京	2840	253(198)	8.9
2.神奈川	1701	133(88)	7.8
3.大阪	1070	94(74)	8.8
4.埼玉	716	63(29)	8.8
5.千葉	702	54(34)	7.7
9.茨城	236	13(14)	5.5
15.栃木	81	8(2)	9.9
19.群馬	67	8(2)	11.9

	受験者 (名)	合格者 (名)	合格率 (%)
1.東大	563	75	13.3
2.京大	486	67	13.8
3.早大	447	39	8.3
4.阪大	432	45	10.4
5.理科大	404	26	6.4
6.東工大	356	42	11.8
7.慶應大	307	31	10.1
8.東北大	253	25	9.9
9.日大	252	7	2.8
10.中央大	236	14	5.9
埼玉大	61	6	9.8
群馬大	60以下	5	8.3以上

都道府県による合格率の差はあまりない

	受験者 (名)	合格者 (名)	合格率 (%)
男性	8807	680	7.7
女性	1577	133	8.4
合計	10384	813	7.8

女性の方が男性より合格率が高い

毎年、東大が合格者数トップだが、
受験者数も多い

平成22年度論文試験合格者：
埼玉大7名、群馬大7名以下
理科大43名、大工大7名

平成22年短答式試験問題類型(3時間半)

法域	数
特許法	18
実用新案法	2
意匠法	10
商標法	10
不正競争防止法	5
著作権法	5
条約	10
合計	60

正しいのはどれか?	30	43
誤っているのはどれか?	13	
正しいのはいくつ?	14	17
誤っているのはいくつ?	3	
合計	60	60

→ PCT4問、パリ条約3問、マドプロ1問、
TRIPS協定2問

平成22年度法域別問題:付表1参照

短答式試験問題例(平成22年)

[47]特許法に規定する手続に関し、次のうち、誤っているものは、どれか。

- 1 婚姻をしている**未成年者**は、法定代理人によらないで、特許無効審判を請求することができる。
- 2 **法人でない社団**であって、代表者の定めがあるものは、その名において特許無効審判を請求することができる。
- 3 **未成年者の法定代理人**は、後見監督人があるときであっても、その同意を得ることなく、相手方が請求した特許無効審判について手続をすることができる。
- 4 日本国内に住所又は居所を有する者であって手続をするものの**委任による代理人**は、特別の授権を得なくても、出願公開の請求をすることができる。
- 5 特許出願人の**委任による代理人が2人以上**あるとき、2人以上の代理人の共同代理によってのみ特許出願人が代理されるべき旨の定めがあっても、特許庁長官がするべき手続は、その2人以上の代理人のうちいずれか1人に対してすれば、当該特許出願人に対してしたと同じ効果が生じる。

毎年、問題は異なるが同じ領域から出題される傾向にある

短答式試験問題例(平成21年)

[1]特許法に規定する手続等に関し、次の(イ)～(ホ)のうち、正しいものは、いくつあるか。

- (イ)法人でない社団であって、代表者の定めがあるものは、その名において、特許発明の技術的範囲について、特許庁に対し、判定を請求することができる。
- (ロ)年齢13歳の少年甲（特許法第7条第1項ただし書きの「独立して法律行為をすることができる」者に当たらないものとする。）が発明をした場合、甲は、法定代理人の同意を得て、弁理士を代理人として選任し、手続をすることができる。
- (ハ)審判長は、手続をする者の代理人がその手続をするのに適当でないと認めた。このとき、審判長は、代理人の改任を命ずることができる。
- (ニ)特許出願の願書には、特許出願人の氏名又は名称及び住所又は居所、並びに発明者の氏名及び住所又は居所を記載することを要するが、発明の名称を記載することを要しない。
- (ホ)特許証は、紛失しても、再交付を請求することができない。

1 1つ

2 2つ

3 3つ

4 4つ

5 5つ

毎年、問題は異なるが、同じ領域から
出題されることが多い
(本問は、手続きに関するもの)

短答式試験勉強の仕方

1. 過去問を勉強

- ・年度別問題集を買い、問題と解答を理解
- ・関連条文、審査基準、解説書等を参照
- ・過去問はやり過ぎない(出題箇所のチェックとしては重要)

2. 条文素読し、青本(逐条解説)で趣旨理解

- ・毎年出題される条文はそれほど変わらない
- ・改正された条文は出題される可能性大(改正本必読)
- ・法律の全体構成理解、大事な条文番号暗記

短答式試験当日の注意(コツ)

1. 一つの問題に時間をかけ過ぎない
わからない問題は飛ばす／迷う問題に時間をかけ過ぎない
2. 30分くらい余らせ、残りの時間でわからなかった問題、迷った問題をやる
3. 10分くらい余らせ、答合わせをする
問題用紙の各枝に○、×をつけ、選んだ枝の番号を書く
→ 最後の10分で回答用紙への写し間違えをチェック
4. 最後の枝まで必ず確認する
正解と思う選択肢があってもさらに正解と思える枝に行き当たることもある

論文式試験(必須)問題例(平成22年度、意匠法)

【問題 I】

関連意匠(意匠法第10条)の制度の趣旨について、意匠権の効力及び平成18年法改正にも言及しつつ、説明せよ。

【40点】

いわゆる一行問題が2年続けて出た(意匠法のみ)

論文式試験(必須)問題例(平成22年度、意匠法)

【問題Ⅱ】

A社は、意匠イを創作した甲から意匠イについて意匠登録を受ける権利の譲渡を受けた後、平成21年9月4日に意匠イに係る意匠登録出願を行った。当該出願について、その出願前に頒布された刊行物に記載された意匠に類似する意匠であるという拒絶の理由が通知され、当該理由により拒絶をすべき旨の査定が確定した。

その後、A社は、平成22年2月4日に大阪府で意匠イの実施に係る製品Xの製造の準備を開始し、平成22年4月3日に販売を開始して以降、現在(平成22年7月4日)に至るまで製品Xの製造、販売を継続している。

一方、B社は、意匠ロを創作した乙から意匠ロについて意匠登録を受ける権利の譲渡を受けた後、平成21年11月27日に意匠ロに係る意匠登録出願を行い、平成22年3月23日に意匠ロを意匠ロ'に変更する手続補正書を提出した。当該出願について、登録をすべき旨の査定の謄本の送達を受け、設定の登録により意匠権が発生し、平成22年6月21日に意匠公報が発行された。

その後、B社は、A社が製造、販売をしている製品Xが登録意匠ロ'に類似するものとして侵害訴訟を提起した。

A社から相談を受けた弁理士は、製品Xと登録意匠ロ'とを比較検討した結果、製品Xが登録意匠ロ'に類似する意匠の範囲に含まれるとの結論に至った。この場合、この**相談を受けた弁理士として検討すべき項目**を挙げた上でそれぞれについて具体的に説明せよ。

なお、製品Xが登録意匠ロ'に類似する意匠の範囲に含まれないとの反論はしないこととする。

【60点】

長文の事例問題(最近は事例問題が主流)

論文式試験(選択)の科目

	【選択科目】	【選択問題】
1	理工I (工学)	基礎材料力学 流体力学 熱力学 制御工学 基礎構造力学 建築構造 土質工学 環境工学
2	理工II (数学・物理)	基礎物理学 計測工学 光学 電子デバイス工学 電磁気学 回路理論 エネルギー工学
3	理工III (化学)	化学一般 有機化学 無機化学 材料工学 薬学 環境化学
4	理工IV (生物)	生物学一般 生物化学 生命工学 資源生物学
5	理工V (情報)	情報理論 情報工学 通信工学 計算機工学
6	法律(弁理士の業務に関する法律)	民法 民事訴訟法 著作権法 不正競争防止法・独占禁止法 行政法 国際私法

選択科目を予め一つ選ぶ → 共通問題1題;試験本番で選択問題一つ選ぶ 18

平成22年度弁理士試験口述試験問題テーマ

短答式の問題範囲としても重要;付表2~4参照

条約関係もおさえる!

		特許・実用新案	意匠	商標
10月15日(金)	午前	特許無効審判及び 審決取消訴訟	関連意匠制度	不登録事由
	午後	先使用权	出願	商標権侵害
10月16日(土)	午前	前置審査	意匠登録を受けることができない 意匠	商標登録の要件 (自他商品・役務の識別力)
	午後	優先権	意匠権侵害	商標登録の要件(慣用商標)
10月17日(日)	午前	通常実施権	先願	商標登録出願の手続の補正
	午後	手続の補正	秘密意匠制度	マドリッド協定の議定書に 基づく特例(国際登録出願)
10月18日(月)	午前	新規性の判断	出願の分割	地域団体商標
	午後	出願の分割	創作非容易性	不登録事由(4条1項8号)
10月19日(火)	午前	審判における審理	意匠権の利用	マドリッド協定の議定書に基 づく特例(国際商標登録出願)
	午後	特許権侵害に基づく損害 賠償請求権	補正と要旨変更	商標登録出願
	午前	在外者の手続及び代理	部分意匠	登録異議の申立て

勉強計画

1年目：短答式試験合格をめざす

- ・青本を繰り返し読む(産業財産権法)
- ・大事な条文番号と見出しを暗記→法律の構成全体を把握(論文式必須試験で法文集は貸与されるが、法文を探している時間はない)
- ・法律用語の意味を正確に把握

2年目以降：論文式試験合格をめざす

- ・受験機関の答案練習会に参加(できれば)
- ・小規模ゼミに参加(できれば)
- ・友達とゼミを組んで一緒に勉強(できれば)

資格取得をめざす人のための参考図書等

- 1 工業所有権法逐条解説〔第17版〕、発明協会、8400円
- 2 知的財産権法文集（平成22年施行版）、発明協会、2000円
- 3 工業所有権法令集、第58版、発明協会、6500円；施行規則を参照
- 4 平成20年特許法等の一部改正、産業財産権法の解説、発明協会、500円
- 5 平成18年意匠法等の一部改正 産業財産権法の解説、発明協会、500円
その他法改正ごとに解説書が出ているので、適宜揃えるとよい
- 6 岩波コンパクト六法（平成21年版）、1890円
- 7 法令用語の常識（改定版）、林修三、日本評論社、1260円

<ホームページ>

- 1 特許庁HP：商標審査基準、意匠審査基準（一括ダウンロード可能）
- 2 法令データ提供システム（特許庁HPとリンク）；最新の法律、規則確認
- 3 判例検索システム（裁判所HP）；最高裁、知財高裁判決等を検索可能